計測展2012 OSAKA　いよいよ開幕

新しい社会を

スマートソサエティーと安心・安全

計測・制御機器の専門展として長い歴史を持つ「計測展」が10月31日から11月2日までの3日間、大阪市のグランキューブ大阪（中之島・大阪国際会議場）で開催される。主催は日本電気計測器工業会（JEMIMA）。展示やカンファレンス、セミナーなどを通じて、新製品や新技術が紹介される。入場料は1000円（事前登録者は無料）。通算35回目の開催となる今年は大阪開催で過去最高の62社が出展する。

プログラム充実

「計測展」は電気計測機器に関する最新技術や製品が紹介される。モノづくりをはじめ、日本のあらゆる産業を裏方として支えているのが計測・制御技術であり、同展はその最新情報が一度に、多角的に見られる展示会だ。東京と大阪で交互に開催されており、大阪開催の今年はメーンテーマが「計測と制御で創る未来の地球」、サブテーマが「―スマートソサエティーと安心・安全―」だ。

JEMIMAの計測展OSAKA実行委員会委員長である前野晃男氏は「新しい社会、スマートソサエティーをイメージしてもらえるような展示会にする。東京との交互開催であることから、大阪開催ならではの話題も用意した」と開幕に向けた意気込みを語る。また、「基調講演や特別講演、セミナーといったプログラムの充実を図った」（同）。

今年の基調講演は大阪開催という地域色を打ち出したテーマが用意されている。開幕日の10月31日11時から会場E（1009会議室）で、経済産業省近畿経済産業局長である小林利典氏が「関西の産業活性化へ向けて」と題した講演を行う。今年6月に産業構造審議会の新産業構造部会で発表された「経済社会ビジョン」では「成長のための成長」ではなく「豊かさを実感できる成長」への転換が提案された。この講演ではビジョンとともに新産業創出と産業構造の転換についての関西における新たな取り組みが紹介される。

また、2日目の基調講演としては11月1日に技術研究組合制御システムセキュリティセンター理事長で、電気通信大学情報理工学研究科教授の新誠一氏による「制御系セキュリティの最新動向」が、3日目の基調講演は21世紀政策研究所研究主幹の澤昭裕氏が「いま、何を議論すべきかなのか？」と題した講演を行う。

白熱する討論

ラウンドテーブルセッション

11月1日13時半から会場E（1009会議室）で開催される「ラウンドテーブルセッション」は産学官の代表者による公開討論会。今回のテーマは計測関係業界以外からも高い関心が寄せられている「スマート技術」などを話題に取り上げた「スマートソサエティーの実現に向けて」だ。

九州大学大学院システム情報科学研究所電気システム工学部門教授の合田忠弘氏、経済産業省近畿経済産業局資源エネルギー環境部次長の薗利彦氏、関西文化学術研究都市推進機構理事でプロジェクト長の二宮清氏、大和ハウス工業総合技術研究所フロンティア技術研究室の主任研究員の吉田博之氏、三菱電機電力流通プロジェクト電力流通第一グループのグループマネージャーであるマルミローリ・マルタ氏、JEMIMAエネルギー・低炭素政策委員会の委員長の石隈徹氏が登壇。

持続可能な成長をもたらす社会、スマートソサエティーを構築するために必要な技術や製品、国際標準化問題、スマートソサエティー構築によって得られる社会的効果などについての討論が行われる。JEMIMA事務局次長の林祐次氏がファシリテーターとして、議事進行を務める。

ラウンドテーブルセッションは毎回、満席になる人気イベント。そのため、参加希望する場合にはウェブサイトから事前申し込みをした方がよいだろう。

一方、JEMIMAの各委員会が主催するJEMIMA委員会セミナーでは11月2日、会場Eで開催される「EUに始まり世界に広がる、計測・制御機器を取り巻く環境関連規制」に注目したい。

欧州連合（EU）加盟国が2006年7月から行ってきた「電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令（RoHS指令　2002／95／EC）」による規制は環境負荷に影響を与える物質を電子デバイスから排除していく取り組み。RoHSは11年7月に改正が行われ、RoHS2・0と呼ばれる改正版RoHS「2011／65／EU」が施行されている。13年1月3日から、RoHSは改正版に完全移行する。

このセミナーではプリュッセルに駐在しているJEMIMA環境グリーン委員会副委員長の中井章仁氏が現地の最新情報を紹介する。

新エネルギー資源

特別講演のテーマに

特別講演も毎回、タイムリーな話題を取り上げることから人気が高いイベント。開幕日の10月31日13時半から、高知県メタンハイドレート開発研究会理事長で、東京工業大学、高知工科大学の名誉教授である鈴木朝夫氏が「新エネルギー資源の使い方―メタンハイドレート、地熱発電、そしてストレージ―」と題した講演を行う。

メタンハイドレートは永久凍土の地底や水深500㍍以下の海底など、低温高圧の過酷な環境下に存在するエネルギー資源。〝燃える氷〟とも呼ばれる。日本近海の埋蔵量は日本で消費される液化天然ガス（LNG）換算で約100年分とも言われている。今年2月には商用生産を見据えた産出試験が愛知県沖で始まった。また、今月、秋田県で行われていたシェールオイルの採掘実験では100・6キロリットルの流体回収を行い、31・1キロリットルの原油確認が行われた。日本の海底・地下資源の採掘に期待が寄せられているところだ。

今後、新エネルギー資源をどう使っていくべきかを考えていく上で、この特別講演は聞き逃せないモノとなるだろう。この他の講演内容や講師などについての詳細は同展ウェブサイト（www.jemima.or.jp/event/keisoku2012/index.html）へ。

10月31日	13：30～15：00	920MHz帯各種無線テレメータ測定方法の最新情報 講師：電子測定器委員会
	15：30～16：20	計測制御分野フィールドバスに関する国際標準開発 講師：ネットワーク国際標準化推進委員会
11月1日	13：00～14：40	広がる校正サービス2012～JCSSへの要望と提案～ 講師：校正事業推進委員会
	15：00～16：40	1．工業用無線の電波伝搬と共存管理 2．事故事例に学ぶ機能安全の必要性 講師：PA・FA計測制御委員会
11月2日	13：00～15：30	EUに始まり世界に広がる、計測・制御機器を取り巻く環境関連規制 講師：環境グリーン委員会
	16：00～16：50	電磁波を用いた被災家屋の非破壊劣化調査法の可能性調査 講師：戦略的基盤技術検討委員会

有力企業の製品・技術　＜順不同＞

田中電気研究所

田中電気研究所は環境の安全・安心・信頼を測定・数値化する技術を得意とする。中でも工場や発電所などの固定発生源ダスト濃度計は高く評価されている。

光散乱方式連続環境粉塵モニター「EDM―2010」は粉塵が発生する作業現場空間の管理用に開発。プロセス制御機器として粉塵濃度の365日連続測定が可能だ。インバーター制御盤と組み合わせれば集塵機の省エネ運転も実現できる。スパン校正の自動化やエアパージ機構内蔵により、メンテナンス負担は大幅に軽減される。

このほか、高感度型ノンサンプリング光散乱式ダスト濃度計「DDM―2001」、プローブ型光散乱式ダスト濃度計「DDM―HAL2」、ソーラー避難誘導塔「AE―TOWER」を紹介する。

ピーアンドエフ

ドイツの防爆機器メーカー、ピーアンドエフはブース内で15分の防爆ミニセミナーを開く。DART（ダイナミック・アーク・リコグニション・アンド・ターミネーション）などを紹介する。テーマは①今さら聞けない「防爆って何？」②15分でわかる本質安全防爆セミナー③防爆革新！最新の本質安全防爆「DART」テクノロジーの3テーマを1日2回、3日間開催。聴講料は無料。

また本質安全防爆バリアー、HART関連機器、フィールドバス関連機器やフィールドバス上で高度物理層診断が可能な「ADM」、内圧防爆パージシステム、防爆ジャンクションボックス、DART電源を使用して、火花発生を防ぐ技術をデモ機で紹介。その他、英国の防爆機器メーカー、BEKAの現場表示器や本質安全防爆時計なども展示する。

YOKOGAWA

「VigilantPlant ～理想の工場」の実現に向けて、幅広い業種における経験とノウハウや豊富な実績によって培った技術力を基に、計測、制御、情報、サービス、さらには省エネまで視野に入れ、お客様と共に進化するソリューションを提供し続けて参ります。

YOKOGAWAは、計測展2012 OSAKAに出展します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

計測展2012 OSAKA
2012.10/31（水）～11/2（金）10:00～17:00
グランキューブ大阪［中之島・大阪国際会議場］
主　催：一般社団法人 日本電気計測器工業会
協　力：一般社団法人 日本電気制御機器工業会
ブース番号：22・23

横河電機株式会社　〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32　0422-52-5393　http://www.yokogawa.co.jp/

HORIBA
Explore the future

計測展2012 OSAKA　HORIBAグループ　ブースNo. 21
スタッフ一同、心よりお待ちしております。

株式会社 堀場製作所　〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地　TEL（075）313-8121
株式会社 堀場エステック　株式会社 堀場アドバンスドテクノ　株式会社 堀場テクノサービス
http://www.horiba.com/keisokuten-2012/

Explore the future　Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific　HORIBA